

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道4号 北上拡幅 <small>きたかみかかくふく</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県北上市相去町字笹長根 至：岩手県北上市飯豊町村崎野19地割 <small>きたかみ あいさり ささながね きたかみ いいとよ むらさきの ちわり</small>	延長	12.2km		
事業概要					
一般国道4号は東京都中央区から青森県青森市に至る延長836.4kmの主要な幹線道路である。北上拡幅は、岩手県北上市相去町字笹長根～飯豊町村崎野19地割間に至る延長12.2kmの4車線道路である。					
S57年度事業化		H7年度都市計画決定		S58年度用地着手	
S57年度工事着手		S57年度用地着手		S57年度工事着手	
全体事業費	約189億円	事業進捗率	94%	供用済延長	9.2km
		(令和3年3月末時点)			
計画交通量	28,200台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3	総費用 (事業全体) 444億円	総便益 (事業全体) 597億円	基準年 令和3年	
	(残事業) 6.1	事業費 397億円 維持管理費 47億円	残事業便益 122億円 走行経費減少便益 87億円 交通事故減少便益 6.7億円		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施					
【全体事業】 交通量変動 : B/C=1.2~1.4 (交通量 ±10%) 事業費変動 : B/C=1.3~1.3 (事業費 ±10%) 事業期間変動 : B/C=1.3~1.4 (事業期間 ±1年)					
【残事業】 B/C=5.4~6.7 (交通量 ±10%) B/C=5.8~6.4 (事業費 ±10%) B/C=5.9~6.2 (事業期間 ±1年)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 (渋滞損失時間：16.2万人時間/年、渋滞損失削減率：約9割削減)					
②国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する (北上市～奥州市 38分→37分(1分短縮))					
③災害への備え ・岩手県地域防災計画にて緊急輸送道路(1次路線)に指定					
他12項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
○岩手県知事の意見					
1 「対応方針(現案)」案に対して異議ありません。					
2 一般国道4号北上拡幅は、自動車産業など東北有数の産業集積地である北上・金ヶ崎地域の渋滞区間の緩和・解消などの効果が期待されることから、令和5年度の開通に向けて、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。 また、本事業において検討されたコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。					
○以下の団体等から、整備促進について要望あり 北上市(北上市長)					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針(原案)の事業継続は妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・昭和57年度新規事業化、用地進捗率97%、事業進捗率94%(令和3年3月末時点)					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・事業の進捗に係る問題はない。					
施設の構造や工法の変更等					
・排水路構造・延長の見直しによるコスト縮減を図っている。					

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

国道4号の交通混雑の緩和、交通事故の減少、救急医療体制の強化、沿線自治体の産業支援、冬期における円滑な物流の確保等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



一般国道4号
北上拡幅



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。